

事業所名

児童デイサービスセンター ピース

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

2 月

20 日

法人（事業所）理念		在宅で生活する障がいのある方々に対して、就労する上での支援、並びに生活を楽しみ、生きがいを見出すことにつながる活動を行い、障がいのある方々があらゆる分野において自由な社会参加ができ、そしてライフステージの全ての段階において人権が尊重され、活動ができる社会を目指すことによって、福祉の向上に寄与することを目的とする。						
支援方針		障がいのある小中高校生を対象として、放課後や夏休みなどお休みの日に、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進、創作的活動、余暇の提供など多様なメニューを設け、本人の希望を踏まえたサービスを提供します。学校教育と相まって自立を促すとともに、放課後等の居場所作りを行います。						
営業時間		8 時	30 分	18 時	00 分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 午前1回、午後1回と利用児童の検温。 ・ ADLの向上（排泄・着替え・食事等）とIADLの向上（掃除や洗濯、食器洗い等）を目指した支援やサポート。 ※ADL（日常生活動作）…日常の中での基本的な動作 ※IADL（手段的日常生活動作）…日常の中での応用的な動作 ・ 調理活動を通しての正しい調理方法や野菜を育てて実際に食べる食育 など 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室内ゲームや室外活動（公園等）での運動機能、筋力の向上 ・ 聴覚過敏のある児童に対してのイヤーマフの常設 ・ 用途に応じて部屋を構造化（合理的配慮） ・ キネティックサンド（室内用の砂）などの感覚遊び など 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の能力や特性と本人ならび保護者のニーズに照らし合わせ設定した課題に基本1対1で取り組んでもらう個別課題。 ・ 主に中高生を対象とした、ニーズや個々の特性に合わせた作業練習。（仕分けやタイピングなど） ・ 制作活動や創作活動等の支援。 など 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ SSTカードを用いたトレーニングや絵カードを用いたコミュニケーションなど必要に応じて児童に合わせた取り組み。 ・ 識字（平仮名やカタカナ等）の学習への取り組み。 など 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小集団（3～5人程度）及び集団（その日利用している全児童）での支援活動。 ・ 周辺地域へのイベントへの参加を通して社会性を身につけると共にインクルージョンへの取り組みを図る。 など 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ 絡ノートや送迎時に対面により随時情報共有をすると共に、必要により面談などを実施し不安や困りごとへの相談援助をおこないます。 			移行支援		各関係機関との情報交換や、必要により担当者会議にも参加し、各ライフステージハスムーズに移行がなされる様に支援します。	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のイベントへの参加や当法人が開催するイベントへの参加を通じて、地域との交流の機会を提供し支援します。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時、事業所会議を実施。 ・ 法人内全事業管理者クラスの合同運営会議を定期的実施します。 ・ 随時、外部研修へスタッフを参加させています。 	
主な行事等		お花見やクリスマス等の季節ごとのイベント 休校日の集団活動（各地外出や調理等）						